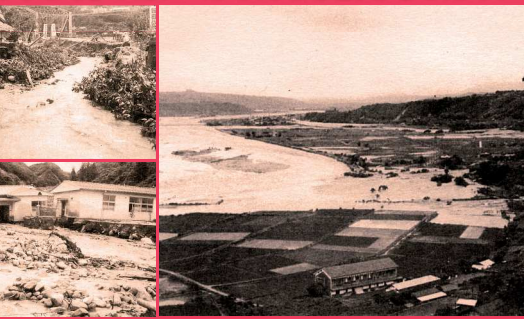


防災 2021 保存版

洪水 土砂災害 ため池

ハザードマップ

「もしも」の時に あなたと家族を守るために



高森町 高森町役場 総務課 防災安全係
TEL.0265-35-3111

土砂災害について

土砂災害は、最も注意しなければなりません。普段と変わった現象→すぐに避難を!

土砂災害の種類

突発的に発生し、さまざまな破壊力で一気に多くの生命や財産を奪ってしまう土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。

- がけ崩れ**
 - 傾斜度が30度以上ある土壌が崩壊する自然現象
- 土石流**
 - 山崩が崩壊して生じた土砂又は渓流の土砂や礫石が一体となって落下する自然現象
- 地滑り**
 - 土壌の一部が地下水等に起因して滑り自然崩壊又はこれに伴って移動する自然現象

土砂災害警戒区域の指定

土砂災害特別警戒区域 (建物や設備が壊れ、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域)

- がけからの水がこぼる
- 地下水や湧き水が止まる
- 斜面がひび割れ、変形がある
- 小石が落ちてくる
- 斜面に土がはく
- 山崩りがする
- 川の水位が下がる
- 川の川底が浅くなる
- 谷水が濁る
- 地面がひび割れができる
- 井戸や泉の水がこぼる
- がけや斜面の水がみず出す
- 家やよき壁に亀裂が入る
- 家やよき壁、電柱、電柱が傾く

あなたにもできる土砂災害の予防策

日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。
がけをお手持ちの方は、がけの周辺を巡回し、次のようなことを心がけましょう。

- 斜面の状態の変化に十分注意しましょう。
- 斜面にひび割れや変形がある場合は、危険な状態と見なして避難を準備しておきましょう。
- 大雨や暴風時は、斜面の崩壊防止のために土砂をかき出し、斜面を安定させましょう。
- 大雨や暴風時は、斜面の崩壊防止のために土砂をかき出し、斜面を安定させましょう。

災害時の心がけ

避難時の心得

特に洪水時に避難する際は、河川の管理道路の利用は避けましょう。水があふれたりする場合があり大変危険です。

- ラジオ・テレビ・スマートフォン等からのお知らせなどで最新の気象情報に注意しましょう。
- 避難の際は、夜場・高齢者・障害者などの指示に従い、早めの避難をしましょう。
- 避難する前に電気・ガスなどの火元を消し、必要なものを含めて避難をしましょう。
- 車での避難は緊急車両の妨げとなりますので、控えましょう。徒歩での避難を行ってください。
- 洪水時は溝や水路に飛びかからないで、十分注意して避難を行ってください。
- 夜場、消防からの避難の呼びかけに注意しましょう。
- 万が一避難が遅れ、危険が迫った場合は近くの丈夫な建物の2階以上に逃げてください。
- マップで最新の避難所の位置を確認して避難をしましょう。
- 洪水時は、足元が滑りやすいため、歩行時は歩幅を小さくし、手すりや壁をしっかりとらえ、歩行してください。

要配慮者への協力を

体の不自由な方やお年寄りの方は避難することが困難であったり、遅れたりすることがあるため、地域の皆さんで協力して助け合いましょう。

- 目の不自由な方には、避難所までの案内をお願いします。
- 一人暮らしのお年寄りの方には、避難所までの案内をお願いします。
- 耳の不自由な方には、避難所までの案内をお願いします。
- 体の不自由な方には、避難所までの案内をお願いします。

避難に関する情報

長野県地方気象台・国土交通省・長野県
高森町役場 電話(代表):0265-35-3111

情報発信の周知
避難所への周知

あなたの家
避難
避難場所

防災情報入手しよう

「高森町緊急情報メール」に登録して、防災情報の届くようにしてください。
「高森町緊急情報メール」の登録方法
QRコードをスマートフォンで読み取り、登録画面が表示されます。
必要事項を入力し、送信ボタンを押すと登録完了です。

気象情報・雨量・河川情報

☎ 電話
国土交通省 中部地方気象庁 0265-81-6411
長野県(建設部) 026-235-7308

📠 パソコン・携帯電話
気象情報: https://www.jma-net.go.jp/nagano/
気象庁(キキクル): https://www.jma.go.jp/
河川水位情報: https://www.sabo-nagano.jp/
国土交通省 川の防災情報: https://www.river.go.jp/
気象庁 土砂災害警戒情報: https://www.jma.go.jp/jp/dosha/

スマホ版
長野県防災情報
川の防災情報
川の防災情報(English)
川の水位情報

わが家の防災メモ

- 避難所・避難場所
- 家族の集合場所・連絡先
- 緊急連絡先

災害時の「声の伝言板」
災害用伝言ダイヤル「171」
171をダイヤルして録音する
2をダイヤルして再生する

大雨に関する気象情報

大雨
大雨注意報
大雨特別警戒報(土砂災害)
大雨特別警戒報(洪水)

気象庁が発する情報
土砂災害
洪水

大雨が一旦減速する
大雨が一層激化する

水位情報等の見方

天竜川 ▼4.81m
堤防高 ▼3.60m
氾濫危険水位 ▼3.30m
避難判断水位 ▼1.40m
氾濫注意水位 ▼0.70m
水防団待機水位

町・住民の行動【発令の目安】

避難判断水位(土砂災害) 避難判断水位(洪水)

河川の水位情報

水表示板(市田水位観測所)

観測所名	市田	新最高水位(H.W.L.)	4.81m
		氾濫危険水位	3.60m
		避難判断水位	3.30m
		氾濫注意水位	1.40m

所在地: 長野県下伊那郡 高森町市田(明神橋)

災害時の感染症対策

新型コロナウイルス等の感染症が収束しない中でも、災害時には、**危険な場所にいる人は避難することが原則**です。
町民一人ひとりが「自らの命は自らを守る」意識を持ち、災害時には次の「避難に関するポイント」を参考に、適切な避難行動をとるよう心がけましょう。

避難に関するポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。**安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。**
- 避難先は、町が指定する避難場所のみではありません。**安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。**
- 避難所に避難する場合は、マスク・消毒液・体温計をできるだけ、**自ら持参してください。**
- 豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

新型コロナウイルス等の感染症対策で非常持出品に加えたいもの

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・固形石けん(※家族又は自分用を持参し、避難所では共用しないこと)
- 使い捨てのビニール手袋(ドアノブ等、多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため)
- 使い捨てのビニールエプロン又はゴミ袋(避難所運営に協力する際に使用)
- 体温計(町で用意できない可能性もあるため、使い慣れたものを持参すること)
- ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋(可能な限り多めに準備)
- 携帯トイレ(トイレは我慢しないこと。避難所のトイレが使えない場合に備える)

避難情報(警戒レベル)の発令

高森町では、災害が発生するおそれがある時、または発生した時に、避難に関する情報を発令します。

警戒レベル4 避難指示までに必ず避難しましょう
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警戒報(土砂災害)
4	災害のおそれが高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等避難	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水情報 大雨警戒
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報
1	気象情報悪化の恐れあり	災害への警戒心を高める	警戒レベル1	

河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をするところから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難するタイミング

- 明るいうちに
- 暴風になる前に
- 異常が発見したら (がけ崩れの兆候、河川付近では水位の上昇など)

適切な避難行動をとりましょう

立ち退き避難(水平避難) 屋内安全確保(垂直避難)

避難所等などに避難すること 自宅や近隣の丈夫な建物の2階などに避難すること

一人一人が自らの判断で避難行動をとることが原則です。災害から命を守るためには、自分の地域や身の回りの危険な場所を事前に確認し、いざという時にどのような避難行動をとればよいか自分で考えておきましょう。